

岡山県の地震

令和3年(2021年)4月

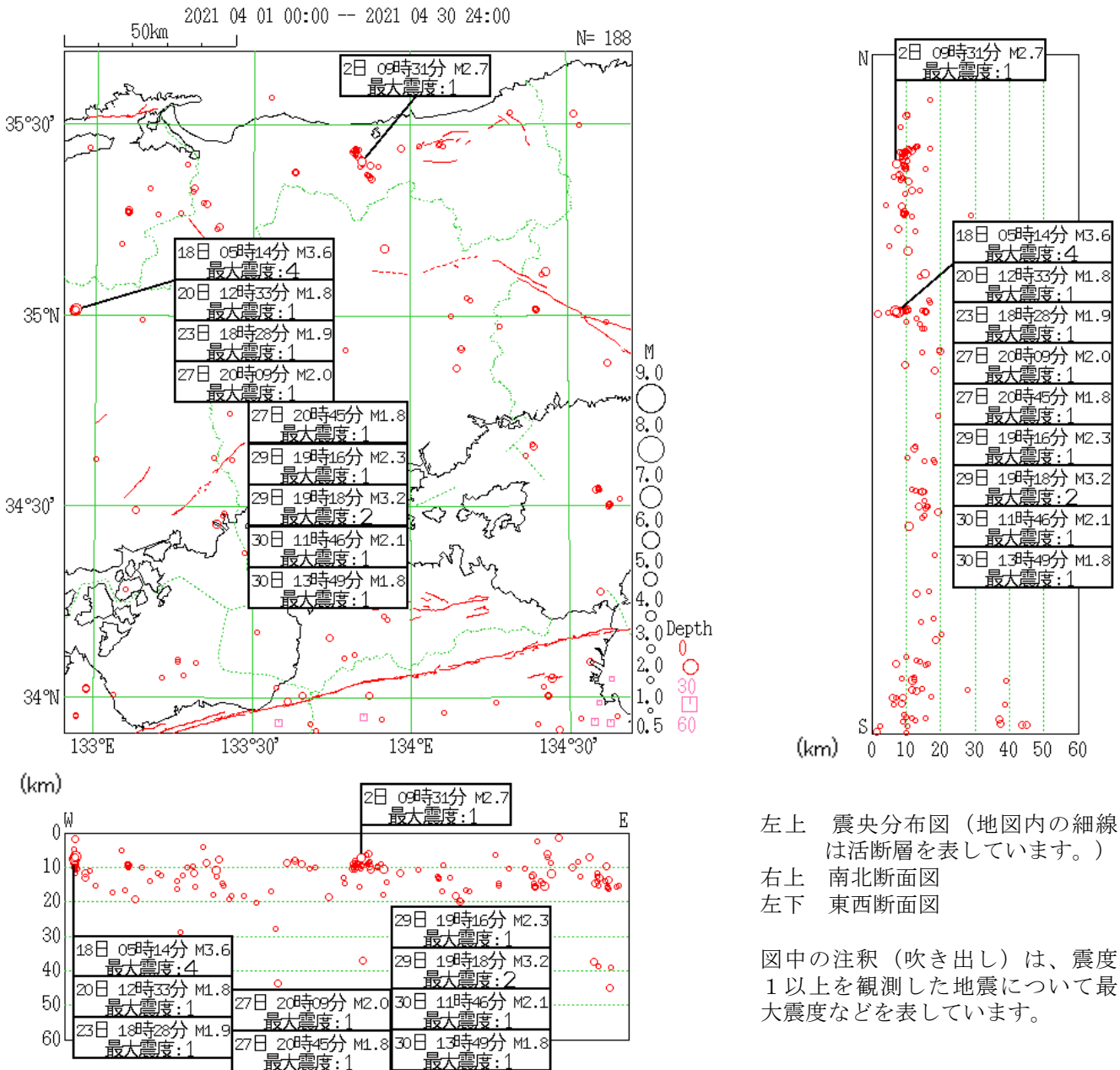
目次

○岡山県及びその周辺の地震活動（4月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 該当なし
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 該当なし
○地震防災メモ No.184	
地震の現地調査について	… 2

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
- この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山県及びその周辺の地震活動(4月)

震央分布図及び断面図



左上 震央分布図（地図内の細線は活断層を表しています。）
右上 南北断面図
左下 東西断面図

図中の注釈（吹き出し）は、震度1以上を観測した地震について最大震度などを表しています。

概況

4月の概況

- ・上図の範囲内で4月に震度1以上の揺れが観測された地震は10回（前月：1回）でした。
- ・岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は4月中に0回（前月：1回）でした。

地震の現地調査について

連休中の5月1日10時27分、宮城県沖でマグニチュード(M)6.8の地震が発生し、宮城県の涌谷町、大崎市、石巻市で最大震度5強を観測するなどしました。仙台管区气象台が当日の午後、現地調査を行い、観測点の状況等について、翌2日に報道発表しました(下図参照)。

このように、震度5強以上を観測する地震などが発生した場合、気象庁では、地元气象台などの職員を現地に派遣し調査を行います。中国地方における最近の事例としては、2016年10月に発生した鳥取県中部の地震の際に、鳥取県内(震度6弱:3地点、震度5強:6地点)と岡山県内(震度5強:2地点)の調査を実施しました。

気象庁が地震の現地調査を行う目的は、以下の2点です。

①震度計の緊急点検

大きな震度を観測した場合、震度観測点の観測環境に異常が認められることがあります。このため、観測された震度が適正かどうか、今後も正常な震度観測が継続可能かどうかを確認するため、震度5強以上を観測した震度観測点の観測環境等を点検します。

点検の結果、異常が認められた場合は、速やかに震度情報の発表対象から外すと共に、今後の対応を検討します。

②被害調査

震度観測点周辺で被害状況の調査を行い、揺れによって現れた現象が、「気象庁震度階級関連解説表」の各震度に対応して記述している現象や被害の状況などと相違ないかどうかを確認します。具体的には、震度観測点の周辺(約200m内)で、建築物やブロック塀の被害状況、周辺の自販機・石垣・電柱等の被害状況、道路・地面や斜面の亀裂・ひび割れ等の被害状況を調査します。このような調査により、被害状況に関する新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなったりした場合には、「気象庁震度階級関連解説表」の記述を変更することとしています。

なお、顕著な被害があった場所では、震度観測点周辺以外であっても被害調査を行います。

そのような現地調査を速やかに行うには、气象台で日頃から準備や訓練をしておくのと同時に、気象庁以外の震度計を設置・運用されている自治体等の担当の方々にもご理解頂けるよう、普段から密な連絡やスムーズな連携が取れる体制を心掛けておくことが大切です。

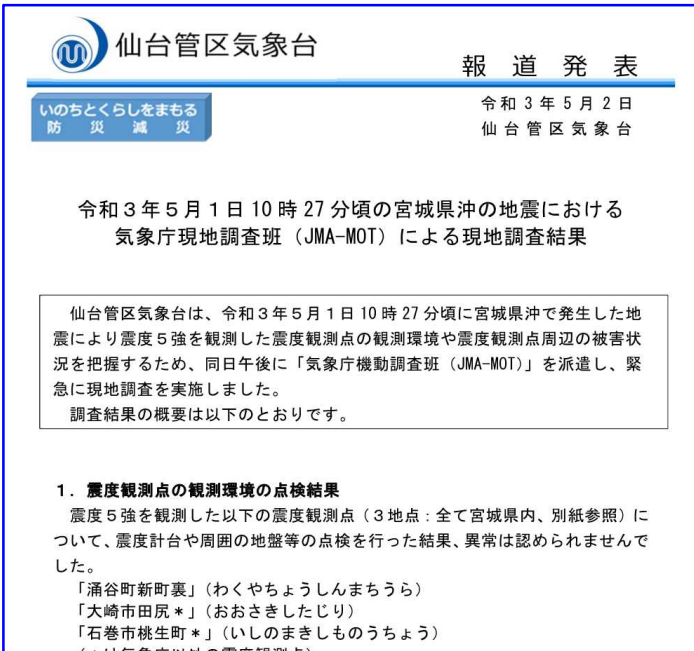
関連事項として、以下の URL から、より詳しい追加情報を入手頂けます。

「気象庁震度階級関連解説表」について>

URL : <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>

気象庁震度階級の解説>

URL : <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/jma-shindo-kaisetsu-pub.pdf>



仙台管区气象台は、令和3年5月1日10時27分頃に宮城県沖で発生した地震により震度5強を観測した震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を把握するため、同日午後に「気象庁機動調査班(JMA-MOT)」を派遣し、緊急に現地調査を実施しました。
調査結果の概要は以下のとおりです。

1. 震度観測点の観測環境の点検結果
震度5強を観測した以下の震度観測点(3地点:全て宮城県内、別紙参照)について、震度計や周囲の地盤等の点検を行った結果、異常は認められませんでした。
「涌谷町新町裏」(わくやちようしんまちうら)
「大崎市田尻*」(おおさきしたじり)
「石巻市桃生町*」(いしのまきしものうちよう)
(*は気象庁以外の震度観測点)

図 現地調査結果に関する報道発表資料(抜粋)
資料全文は、気象庁HPの「新着情報」から入手願います。